

規則  
7

## 委員会の行動

## 規則の理念:

ハンディキャップ委員会は、プレーヤーのハンディキャップを適切に管理するうえで極めて重要な役割を担っており、算出されたハンディキャップインデックスがプレーヤーのゴルフ技量を反映しなくなった場合には介入措置をとることができる。

これらの措置は、適切に実施することにより、どこのゴルフ倶楽部でもプレーヤーが公平且つ一貫性を持って扱われるように設計されている。

また競技を管理する委員会は、参加するすべてのプレーヤーに対して競技の条件を制定することについて重要な役割を担う。

## 7.1 ハンディキャップ委員会

## 7.1a ハンディキャップ検証の実施とハンディキャップインデックスの修正

- (i) ハンディキャップ検証の実施: ハンディキャップ委員会は、付属規則 D に定められた手順を使用して、プレーヤーのハンディキャップインデックスを検証するべきである。
- ハンディキャップ委員会が、少なくとも 1 年に 1 回、ハンディキャップ検証を実施することを強く推奨する。
  - ハンディキャップ検証は、プレーヤーまたは他のプレーヤーの要請でいつでも実施することができる。
  - プレーヤーのハンディキャップインデックスを修正する前に、ハンディキャップ委員会は、以下を含む、入手可能なすべての証拠を注意深く検討するべきである:
    - そのプレーヤーの潜在的なスコアリング能力が、一時的または慢性的な怪我や病気による影響を受けており、そのことによって、そのプレーヤーが他のプレーヤーと公平にプレーするための技量に著しい影響をおよぼしていないかどうか?
    - そのプレーヤーが以前に保持していたハンディキャップ
    - そのプレーヤーは、急速に上達中のプレーヤーか?あるいは技量が低下しているプレーヤーか?

- あるプレー形式と別のプレー形式でプレーヤーのパフォーマンスが著しく異なっていないか?例えば、競技ラウンドと一般のプレー、承認されたプレー形式と承認されていないプレー形式、など。
- プレーヤーの行動が、不当な利益を得るためのものであると判断されたことがあるか?

- (ii) ハンディキャップインデックスの修正: ハンディキャップ委員会は、入手可能なすべての証拠を検討し、プレーヤーのハンディキャップインデックスを修正する最も効果的な方法を決定しなければならない。その方法は、次のいずれかを選択できる:
- そのプレーヤーの実証された技量をより正確に反映すると判断された任意のハンディキャップインデックス値に修正するために、スコア記録内の最新 20 枚のスコアディファレンシャル 1 枚ずつに修正値を適用することによってハンディキャップインデックスをリセットする。
    - この方法は、新しいスコアが提出されると、随時ハンディキャップインデックスが更新される。
    - プレーヤーのスコア記録に登録されているスコアが 20 枚未満の場合、この修正値は登録されているすべてのスコアディファレンシャルに適用される。
    - この修正が必要なくなると判断された場合、ハンディキャップ委員会は、いつでもこの修正を解除することができる。

または、

- ハンディキャップインデックスを、ハンディキャップ委員会が選択した数値で一定期間凍結する。
  - この期間中は、新しいスコアが提出されてもプレーヤーのハンディキャップインデックスは更新されない。但し、ハンディキャップ委員会が、数値の増加のみに対して凍結を適用した場合を除く。
  - ハンディキャップ委員会は、ハンディキャップインデックスの凍結をいつでも解除ことができ、その場合、プレーヤーのスコア記録に登録されているスコアを使用してハンディキャップインデックスが計算される。

ハンディキャップ検証の結果、プレーヤーのハンディキャップインデックスを修正する場合は、以下のように適用しなければならない：

- プレーヤー本人がその旨の通知を受け、ハンディキャップ委員会、または承認された協会（該当する場合）に対して反論する機会を得た後に適用する。
- 上方または下方修正は、最少1打で行う。
- 上方修正は、プレーヤーのローハンディキャップインデックスに対してプラス 5.0 打を上限とする。但し、長期間に渡る病気や怪我などの理由により、プレーヤーがそれ以前に達成したレベルでプレーすることができなくなった場合など、例外的な状況がある場合を除く。

規則7.1aの解釈：

7.1a/1 - プレーヤーの最新20枚のスコアディファレンシャルを修正することによるハンディキャップインデックスのリセット方法

プレーヤーのスコア記録に登録されている最新 20 枚のスコアディファレンシャル 1 枚ずつに修正値を適用することによって、次のスコアが提出された後も修正の効果は継続し、その後さらに新しいスコアが提出されるに従って修正の効果は徐々に薄くなる。

例えば、プレーヤーの急速な上達が最近のスコアによって示されているために、ハンディキャップ委員会は、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスを 10.3 から 9.3 に修正することを決定した。

この場合、ハンディキャップ委員会は、最新 20 枚のスコアディファレンシャル 1 枚ずつに -1 打の修正を適用する。この修正が最終計算結果に反映するかは次の表に示した通り：

スコア	コースレーティング	スロープレーティング	スコアディファレンシャル
83	70.0	131	11.2
86	71.8	127	12.6
82	69.0	125	11.8
79	69.8	128	8.1
87	70.1	134	14.3
90	70.0	128	17.7
89	71.8	131	14.8
88	71.5	129	14.5
81	69.4	127	10.3
92	71.7	130	17.6
86	71.8	127	12.6
87	70.1	134	14.3
79	69.8	128	8.1
83	70.7	125	11.1
88	71.5	129	14.5
92	71.7	130	17.6
80	69.1	120	10.3
86	71.8	127	12.6
82	69.4	127	11.2
90	70.0	128	17.7

ベスト8枚

プレーヤーのスコア記録内のスコアディファレンシャル最新20枚中ベスト8枚の平均によって算出されるハンディキャップインデックスは、以下の通り：

$$(11.2 + 11.8 + 8.1 + 10.3 + 8.1 + 11.1 + 10.3 + 11.2) \div 8 = \text{HDCPインデックス } 10.3$$

スコア	コースレーティング	スロープレーティング	スコアディファレンシャル	HDCP検証による修正
83	70.0	131	11.2	-1
86	71.8	127	12.6	-1
82	69.0	125	11.8	-1
79	69.8	128	8.1	-1
87	70.1	134	14.3	-1
90	70.0	128	17.7	-1
89	71.8	131	14.8	-1
88	71.5	129	14.5	-1
81	69.4	127	10.3	-1
92	71.7	130	17.6	-1
86	71.8	127	12.6	-1
87	70.1	134	14.3	-1
79	69.8	128	8.1	-1
83	70.7	125	11.1	-1
88	71.5	129	14.5	-1
92	71.7	130	17.6	-1
80	69.1	120	10.3	-1
86	71.8	127	12.6	-1
82	69.4	127	11.2	-1
90	70.0	128	17.7	-1

ベスト8枚

委員会による修正「-1」が適用されたプレーヤーのスコア記録内のスコアディファレンシャル最新20枚中ベスト8枚の平均によって算出されるハンディキャップインデックスは、以下の通り：

$$(10.2 + 10.8 + 7.1 + 9.3 + 7.1 + 10.1 + 9.3 + 10.2) \div 8 = \text{HDCPインデックス } 9.3$$

### 7.1a/2 – 怪我をしたプレーヤーに対するハンディキャップ委員会による修正は、怪我が発生した後のスコアに基づかなければならない。

怪我をしたプレーヤーのハンディキャップインデックス修正については、ハンディキャップ委員会は、その怪我が発生した後の採用可能なスコアが少なくとも 1 枚提出された後に検討するべきである。修正の程度を決定する際は、ハンディキャップ委員会は、その怪我の発生後に提出されたスコア、および怪我の性質と程度を考慮するべきである。

何枚ものスコアを提出した後、その怪我のためにプレーヤーの技量が恒久的に変化したことが明らかになった場合は、そのプレーヤーのスコア記録を破棄し、怪我が発生した後に提出されたスコアだけを使用して新規にハンディキャップインデックスを発行することが適切な場合もある（規則 5.2 参照）。

### 7.1b ペナルティースコアの適用

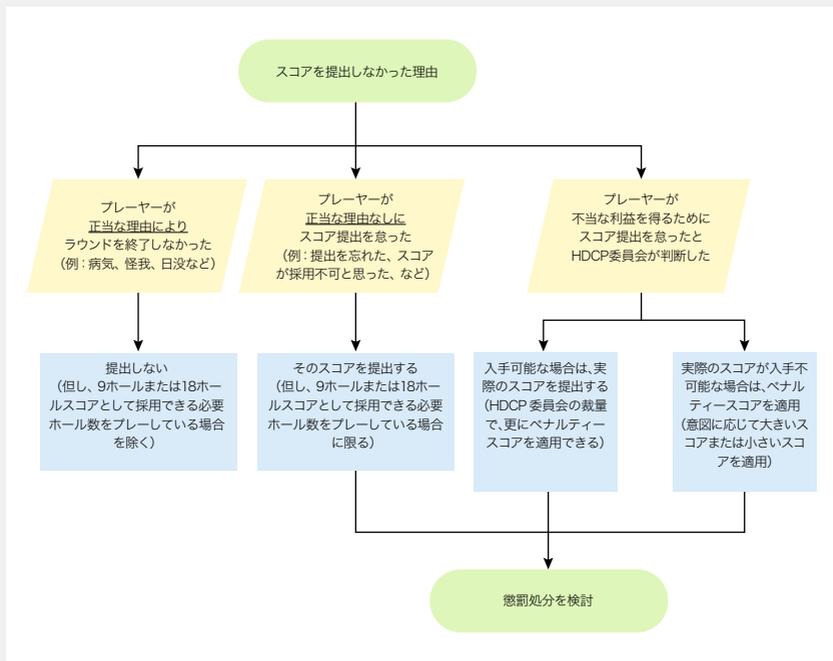
プレーヤーが、承認されたプレー形式のスコアを適時提出しなかった場合、ハンディキャップ委員会は、その理由を調査し、適切な措置をとるべきである。

- (i) 正当な理由でスコアが提出されなかった場合：プレーヤーのホーム倶楽部のハンディキャップ委員会は、プレーヤーがスコアを提出しなかった理由が正当なものか否かを決定する権限を持つ。
- スコアを提出しない正当な理由には、以下を含むことができる：
    - 突然の怪我や病気
    - 緊急事態
    - 危険な気象状況
    - ハンディキャップ委員会が正当とみなしたその他の理由
  - ホーム倶楽部または委員会が、プレーヤーがスコアを提出しなかった理由が正当なものだと判断した場合、選択できるオプションは次の 2 種類とする：
    - **オプション 1 – そのスコアを提出しなければならない。** ラウンドは完了していないが、承認された協会が決定した 9 ホールまたは 18 ホールスコアとして採用するための最少ホール数をプレーしている場合は、そのスコアをハンディキャップ査定のために提出するべきである。
    - **オプション 2 – そのスコアを提出してはならない。** ラウンドは完了しておらず、承認された協会が決定した 9 ホールまたは 18 ホールスコアとして採用するための最少ホール数をプレーしていない場合は、そのスコアをハンディキャップ査定のために提出してはならない。

- (ii) 正当な理由なしでスコアが提出されなかった場合：委員会は、プレーヤーがスコアを提出しなかった理由が正当なものか否かを決定する権限を持つ。
- スコアを提出しない不当な理由には、以下を含むことができる：
    - 良いスコアによってハンディキャップインデックスが低減することを妨げる
    - 悪いスコアによってハンディキャップインデックスが増加することを妨げる
  - プレーヤーのスコアが特定可能であり、プレーしたホール数が、承認された協会が決定した 9 ホールまたは 18 ホールスコアとして採用するための最少ホール数を満たしている場合は、そのスコアをハンディキャップ査定のために提出するべきである。
  - ハンディキャップ委員会がペナルティースコアを提出した後に、そのプレーヤーの実際のスコアがあることが分かった場合、そのスコアもプレーヤーのスコア記録に登録するべきである。既にプレーヤーのスコア記録に登録されたペナルティースコアをそのまま残すか削除するかについては、ハンディキャップ委員会の裁量に委ねる。
  - プレーヤーがスコアを提出しなかったのは、ハンディキャップインデックスを改ざんする目的であるとハンディキャップ委員会が結論付けた場合、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスの停止、および/または適切なペナルティースコア（目的に応じて大きいスコアまたは小さいスコア）の適用を検討するべきである。
  - ハンディキャップ委員会または承認された協会は、繰り返しスコア提出を怠ったプレーヤー、またはラウンドを完了しなかったプレーヤーに対して、懲罰処分を検討するべきである。

(図 7.1b 参照)

図7.1b：スコア未提出の場合にハンディキャップ委員会が実施できる行動



### 7.1c ハンディキャップインデックスの停止

ハンディキャップ委員会、または承認された協会は、プレーヤーがハンディキャップ規則が定めるプレーヤーの責任(付属規則 A 参照)を故意に、または繰り返し遵守しなかった場合、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスを停止するべきである。

- プレーヤーのハンディキャップインデックスを停止する場合は、必ず事前にその旨をプレーヤーに通知し、ハンディキャップ委員会、承認された協会、またはその他の機関に反論する機会を与えるべきである。
- プレーヤーは、ハンディキャップインデックスの停止期間、およびその他追加の条件について、必ず通知を受けなければならない。

### 7.1d ハンディキャップインデックスの復活

プレーヤーのハンディキャップインデックスが一定期間停止され、その後復活できる状態になった場合、そのハンディキャップインデックスの復活が必要となる。

そのプレーヤーのハンディキャップインデックスをどのレベルで復活させるかを決定するために、ハンディキャップ委員会は次のいずれかを考慮することができる：

- プレーヤーの実証された技量を反映するとハンディキャップ委員会が考えるレベルでハンディキャップインデックスを復活させる。
- そのプレーヤーを新規ゴルファーとみなして、新たにハンディキャップインデックスを発行する。
- 前回登録されたハンディキャップインデックスで復活させる。

ハンディキャップインデックスが復活された場合、ハンディキャップ委員会がその後のラウンドを通してそのプレーヤーのハンディキャップインデックスを注意深く監視し、必要に応じて適切な修正を適用することを強く推奨する。

## 7.2 競技を管理する委員会

### 7.2a 競技の条件

競技を管理する委員会は、競技の条件でハンディキャップに関する上限を設けることができる。例えば、委員会は以下を設定できる：

- エントリー資格としての、または競技で使用するハンディキャップインデックスの上限
- プレーイングハンディキャップの上限

委員会が上限を設定した競技の後に、プレーヤーのハンディキャップインデックスを更新する際は、制限が適用されていないプレーヤーのフルコースハンディキャップを使用して調整グロススコアを計算するべきである。

競技の運営管理をスムーズに行うために、同一日または連続する複数日における複数ラウンドの競技を管理する委員会は、競技の条件において、競技開催期間中はプレーヤーのハンディキャップインデックスを変更するか否かを決定しなければならない。そのような競技においては、ハンディキャップインデックスを変更しないことを強く推奨する。

### 7.2b その他の行動

競技を管理する委員会は、以下を行う権限を持つ：

- 参加者のハンディキャップインデックスが本人の実証された技量を反映していないことを示す証拠がある場合、競技の条件で参加者のプレーイングハンディキャップを修正する。
- コースコンディションが異常に悪い時に、ハンディキャップ査定のためのスコア提出の一時中断を決定する。このような一時中断を実施する前に、委員会は承認された協会の許可を得るべきである。